

2 事前調査の方法

2-3 既存外壁適性診断

④試験方法

■ビスの施工

各章の「胴縁・アンカー・ビスの割り付け」にある注意点に基づき施工します。

ビス頭は試験機の治具が挿入できるように(約5mm)浮かします。

■試験機の操作概要(例:サンコーテクノ社製・テクノテスターRT-2000LD(Ⅱ))

※ 詳細は取扱説明書をご参照ください。

- ハンドルを手前に回転させて出し切ります。
- ビス頭に適合する治具を試験機にセットします。
- ビスが垂直に引っ張られるように治具位置を調整し試験機を固定します。
- 試験機の足が浮かないようにレベルを調節します。
- 引張荷重が加わらない状態で一度リセットを行い、変位と荷重を0にします。
- ハンドルを回転(右回り)させます。回転速度は3秒間に1回転が目安です。

■最大値の見方の注意点

- 変位が1mmまでに引張荷重が最大値に達したときは、達した時の値を引張荷重の最大値とします。
- 変位が1mmを超えても引張荷重が増大していく場合は、変位が1mm時点での引張荷重を最大値とします。



【推奨試験機】
サンコーテクノ株式会社
テクノテスターRT-2000LD(Ⅱ)
(日本建築工学会認定)

⑤試験部位の補修・清掃

- 試験を行った孔は、補修材などでふさいでください。
- 床などに落ちた切り粉などは掃除します。

2-4 合否の判定・構造躯体耐力の検討

●風圧力に対する安全性の検討は、引張荷重確認試験にて行います。

各工法の合格値は表の通りです。変位1mmまでの最大値が合格値を上回ることをご確認ください。

なお、各合格値は各施工高さ・基準風速38m/s・地表面粗度区分Ⅲの建物を想定しています。

地表面粗度区分Ⅱまたは基準風速が40m/s以上、あるいは合格値を下回る際やALCへの施工高さが20~30mの場合は、胴縁やアンカー・ビスの間隔を狭めるなどの対応を検討できます。詳しくは弊社営業所またはお客さま相談室までお問い合わせください。

	RC造 金属胴縁工法	S造ALC 金属胴縁工法	RC造外断熱 金属胴縁工法	RC造 専用ブラケット 工法(※)	RC造 木胴縁	S造ALC 木胴縁
試験用 アンカー・ビス	プレスアンカー	ALCドライブ	CTアンカー または グリップアンカー	オールアンカー	プレス アンカー	リフォーム スクリュー
合格値(N)	1196	864	1974	5980	1104	

※オールアンカーは試験後も躯体にアンカーが残ります。アンカーの頭部を埋める場合は、あらかじめ先孔を深く掘り、躯体に埋め込んでください。

●重量増加に対する構造躯体耐力の安全性の検討は、建築士などの専門家が行ってください。

下地重量として、木胴縁は約1.5kg/m²、金属胴縁は約2.5kg/m²を加算します。